

【施設状況】

グループ名称	保育園（芋井、青池、清野、西条）							
指定管理者名	社会福祉法人長野市社会事業協会				法人番号	5100005001689		
所管課	主	117000	保育・幼稚園課	副				
構成施設	1506	芋井保育園						
	1517	青池保育園						
	1499	清野保育園						
	1508	西条保育園						
施設分類	05	保健福祉・医療型		施設利用者圏域	01	地域施設	利用制適用区分	03 一部利用料金制
施設概要	<ul style="list-style-type: none"> 芋井保育園：鉄骨平屋造 392.40㎡、定員20人、保育室2室、乳児室1室、調理室、遊戯室、事務室、園庭 青池保育園：鉄骨平屋造 398.45㎡、定員20人、保育室2室、乳児室1室、調理室、遊戯室、事務室、園庭 清野保育園：鉄骨平屋造 493.02㎡、定員30人、保育室3室、乳児室1室、調理室、遊戯室、事務室、園庭 西条保育園：鉄骨平屋造 426.87㎡、定員40人、保育室3室、乳児室1室、調理室、遊戯室、事務室、園庭 							
施設設置目的	児童福祉法に基づき、保育を必要とする児童を保育するための認可保育所を設置する。							
基本方針等	長野市保育所設置及び使用条例、長野市特定児童福祉施設の設備及び運営の基準に関する条例、長野市特定児童福祉施設の設備及び運営の基準に関する条例施行規則、長野市保育所管理規則に定める規定に従う。							
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> 保育の実施 保育に関する相談、助言の実施 特別保育の実施 							

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	・協定、事業計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	<ul style="list-style-type: none"> ・協定、事業計画の一部が予定どおり実施されない ・管理運営の一部において、市の指導が必要
1 (悪い)	<ul style="list-style-type: none"> ・協定、事業計画が全て実施されない ・管理運営の全てにおいて、市の指導が必要 ・市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

指定管理者名	社会福祉法人長野市社会事業協会		指定回数	5 回	
指定期間	平成28年4月1日	～	令和3年3月31日	5年	管理運営開始日 平成18年4月1日
指定管理者の健全性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。 また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。				評価
	特記事項 (問題等があった場合に、その内容等を記入)			3	

2 施設の有効活用

施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)	利用区分等	単位	H27	H28	H29	H30	対前年比	評価
	芋井保育園 在園児数	人	18	18	16	12	75%	
	青池保育園 在園児数	人	16	20	18	18	100%	
	清野保育園 在園児数	人	33	29	29	31	107%	
	西条保育園 在園児数	人	41	49	48	42	88%	
	合計	人	108	116	111	103	93%	
							#DIV/0!	
						#DIV/0!		
(特記事項) 在園児数は、毎年度3月1日現在の人数								
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案		追加事業、未実施事業及び未実施の理由				
	市指定事業	<ul style="list-style-type: none"> ・保育の実施 ・保育に関する相談 ・特別保育の実施 ・通園バスの運行（芋井保育園） 						
	自主事業	<ul style="list-style-type: none"> ・提案を求めている 						
サービス維持・向上の取組み（広報等）	<ul style="list-style-type: none"> ・園開放や園行事について、子育て情報誌への情報提供と掲載 ・一時預かりの実施 ・行事等に関するチラシの配布 ・世代間交流の実施 							

3

3 利用者評価

区分	内容		評価
利用者要望把握	(1) 利用者要望把握方法	利用者アンケート	
	(2) 調査、会議等の内容	<p>《青池》意見箱を設置。個別懇談会、保護者会、送迎時に意見・要望の聞き取り。年度末に行事等のアンケートを実施。</p> <p>《西条》個別懇談会を実施（年長児は年2回）。送迎時などに保護者から要望等を聞き取り。園児全員に連絡ノート配布。</p> <p>《清野》保育内容、行事、給食などについてアンケートを実施。送迎時、入園説明会、保護者会総会、個別懇談会などの機会に、意見・希望の聞き取り。</p> <p>《芋井》行事などに関するアンケート調査を実施。保護者会、個別懇談会で意見、要望を聞き取り。第三者評価を受審し、保護者にアンケート調査を依頼した。</p>	
利用者からの評価	(3) 調査、会議等の結果	<p>《青池》意見箱への投函はなし。個別懇談会では全員に意見の聞き取りを行なった。アンケートは回収率100%。</p> <p>《西条》個別懇談会は全員実施し、個別質問などには個別回答。行事など全体に関することは、おたよりや保護者総会時に回答。連絡ノートには、保護者からの連絡のほか要望事項などの記入も依頼した。</p> <p>《清野》アンケートは回収率が23%と低い。個別懇談会は全員実施（年長児は年2回）。</p> <p>《芋井》第三者評価での保護者アンケートは、100%の回収率。結果は県ホームページで公開。</p>	4
	(1) 良好とする評価	<p>《青池》地域、保護者との連携は良好。アットホームで個を大事にした保育や、のびのびした保育を評価された。</p> <p>《西条》保護者の気持ちに寄り添った対応をしている。自然環境でのびのびと遊ばせ、子どもを尊重している。園・クラスだよりとは別に個別のお便りがあり、子どもの様子が分かり嬉しい。マラソン、散歩、園外保育などは体力づくりになる。</p> <p>《清野》保育活動を毎日掲示板に張り出し、子どもの様子がわかる。職員がその日にあったことを直接伝えてくれる。アンケート結果を受け、行事が改善された。小さな怪我などもきちんと報告されている。</p> <p>《芋井》夏祭り、運動会、楽しみ会などは子供の成長を見られるいい機会。保育士の工夫が見られる。個別懇談会で保育士と子供の話が出来るのが良い。プール参観が自由参観になったので自分の都合を見て参観できた。</p>	
利用者からの評価・苦情等	(2) 苦情・改善等の要望事項	<p>《青池》特に改善を求める声はないが、園児減少を心配している保護者がいる。</p> <p>《西条》特段の苦情はなし。</p> <p>《清野》幼児組の連絡ノートがあまり活用されていないように思う。園だよりを未満児と幼児で分けてほしい。お迎えの時など子どもの身支度がきちんとしていない事があり気になる。</p> <p>《芋井》4月の個別懇談会は5月の連休明けでもよい。個別懇談会を年に2回行ってほしい。夏祭りの内容が毎年同じパターンになりつつあるので、新しい物も取り入れて欲しい。</p>	
	《対応措置》	<p>《青池・西条》特になし。</p> <p>《清野》幼児組のノートは、未満児のように日々の様子を記入するものではないことを伝え、担任に伝えたいことがある時などに積極的に利用してほしいことを伝えた。クラスだよりが発行されるので、園だよりは現状のままにしたいことを伝えた。持ち物などはわかりやすく分けて載せるようにした。身支度には気配りしつつも、子どもたちが自分でできる力も身に付くように言葉かけをしていくことを伝えた。</p> <p>《芋井》個別懇談会の実施時期は、保護者会で相談し検討する。夏祭りは、月と曜日を変更したことを保護者と確認し承りいただき、内容は職員で検討する。</p>	

事業収支 (単位：円)	指定管理者収支（平成30年度）				市の収支				評価		
	年度計画額		収支実績額		平成30年度決算		平成29年度決算（前年度）				
	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額			
収入	利用料金	348,000	利用料金	1,168,400	歳入	使用料		使用料			
	指定管理料	124,211,000	指定管理料	148,503,306		雑（納付金）		雑（納付金）			
	委託料	2,684,000	委託料	2,684,291		行政財産 目的外使用料		行政財産 目的外使用料			
	販売収入等		販売収入等			貸付料		貸付料			
	その他収入	16,554,000	その他収入	6,372,053		その他		その他			
						保育料	21,546,370	保育料	22,283,250		
	計	143,797,000	計	158,728,050		計	21,546,370	計	22,283,250		
	支出	人件費	142,708,000	人件費		135,680,262	歳出	指定管理料	148,503,306	指定管理料	160,193,994
		設備管理費	1,597,000	設備管理費		1,311,861		委託料	2,684,291	委託料	2,491,183
		備品購入費	2,074,000	備品購入費		2,206,486		需用費		需用費	
修繕費		1,600,000	修繕費	1,038,074	役務費			役務費			
光熱水費		4,554,000	光熱水費	4,477,201	使用料・賃借料			使用料・賃借料			
事業費		10,512,000	事業費	8,800,549	修繕費			修繕費			
事務経費		6,098,000	事務経費	5,417,440	工事請負費			工事請負費			
本社経費		0	本社経費	0	備品購入費			備品購入費			
その他		9,171,000	その他	7,180,562	その他			その他			
計		178,314,000	計	166,112,435	計	151,187,597		計	162,685,177		
自主事業	収入		収入								
	支出		支出								
	自主事業損益	0	自主事業損益	0							
損益		-34,517,000		-7,384,385	差引			-140,401,927			
人件費比率【人件費(賃金等)／平成30年度指定管理者事業支出】(支出に占める人件費の割合)									81.7%		
本社経費が、計画額と実績額で異なる理由											

5 管理運営全般 ※すべて で、「3」。「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

区分	確認内容	チェック欄	評価
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	配置実績 (うち市内雇用職員数) 園長4(3)人、保育士40(36)人、調理員12(12)人、栄養士1(1)人、バス運転手2(2)人、バス添乗員2(2)人 合計61人		
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか		
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか		
平等利用	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか		
経理	2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか		
施設・備品の維持管理	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に実行されたか		
セルフモニタリング等	2 備品はI種、II種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか		
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3

区分	確認内容	チェック欄	評価	
危機管理体制	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか	<input checked="" type="checkbox"/>	3	
	2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか			
	3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか			
	個人情報保護 1 施設の利用者の個人情報保護のための対策が適切であったか	<input checked="" type="checkbox"/>		
	防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか		<input checked="" type="checkbox"/>
		2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		<input checked="" type="checkbox"/>
緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	<input checked="" type="checkbox"/>		
	2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか			

7 地域連携

地域連携	評価	
	協定内容・指定管理者提案	追加された内容、未実施の内容及びその理由
地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。障害者就労施設等からの物品及び役務の調達に努めたか。		
・地域の関係団体と連携し、子育て支援の実施。 ・地域行事への積極的な参加。		

【総合評価】

評価項目	評価	得点	総合評価
指定管理者の健全性	3	6	
施設の有効活用	3	6	
利用者評価	4	16	
事業収支	3	6	
管理運営全般	3	12	
危機管理体制	3	12	
地域連携	4	8	

評価理由
 ・保護者対象のアンケートで、自然環境を生かした家庭的な保育や、保育士の対応、アンケート結果を行事内容に反映するなどの対応が評価されているため、「利用者評価」を「4」とした。
 ・地域のお年寄りを招いての世代間交流の実施や、民生児童委員や地域の保健師と連携して未就園児の保護者を対象に園開放の開催、小学校のコミュニティ委員会などへの参加により積極的な情報発信と地域における子育て支援に努めていることから、「地域連携」を「4」とした。

取組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの課題	改善状況	改善案等 (改善されていない場合)
	・入所児童の減少	・地域関係機関への情報提供、園開放の実施などにより情報提供を行い、途中入園につなげるなど入所児童数の確保に努めている。	

次年度の目標・取組み等 (施設所管課)	内容
	・指定管理者が行う保育事業は、保護者から好評を得ていることから、引き続き運営を委託していく。 ・いずれも中山間地に近い地域の保育所であるため、今後、入所児童数の減少が予想される。令和2年度の指定管理更新に向け、管理運営方針について指定管理者と協議を行う。

指定管理者自己評価

(1) 今年度の取組みに対する評価

① サービス向上に向けての取組み

《青池》にじいろキッズの発達支援相談員の巡回指導によって気になる子への支援方法を学習。世代間交流・異年齢児交流の地域活動事業を積極的に開催。小学校のコミュニティ委員会、地域の会議に積極的に参加し保育園の情報提供。雪上運動会を始め恵まれた環境を生かした保育（リンゴ狩り、野菜作り、苗植えなど）。

《西条》地域のお年寄りとの食事会や交流会、老人施設への訪問などの世代間交流や園開放を積極的に行うことで異年齢交流の実施。保育園独自の献立を作成し、園児の声を取り入れた食事の提供。園開放の通知を地域に回覧し、利用や一時預かりの受け入れを通じて入園につなげる。

《清野》保育士個人がクラス運営の評価目標を立て、保育主任と連携して保育にあたる。個々に研修目標を立て必要な研修に参加、園内研修で報告。園目標「体幹を鍛える」の達成に向け、様々な運動遊びを導入。発達支援の定期巡回支援を受け、気になる子を含めたクラスづくりを実践。

《芋井》主任児童委員と地域の保健師が主催する未就園児の会（いづなっこの会）に参加し、保育園の様子、園開放や行事の情報をチラシなどで提供することで、園開放の参加人数の増、一時預かりの利用の増につなげた。園開放で未就園児の保護者の子育て相談に対応。地域活動事業の世代間交流・異年齢児交流を積極的に取り組んだ。特に異年齢児交流では、小学生との交流が増え年長児にとっては安心して就学する準備ができた。

② 業務の効率化に対する取組み

《青池》支援記録システムを活用し業務効率化を図った。節電、節水に努めた。食育の一環として自園で採れた野菜を給食に活用、給食費の節約につながった。雨水タンクを活用し、溜まった水を畑の水やりに使用した。

《西条》行事前の準備は事前に計画を立て、余裕を持って取り組む。支援システムを活用した保育記録や個別のおたよりの作成。早番、遅番、日勤の勤務体制を定着させ、時間内で仕事が効率化を図った。

《清野》行事の係分担を明確にし、指示された業務を分担して勤務時間内での準備に努めた。行政事務調査の際、不必要な書類などの確認を行い整理した。

《芋井》支援システムを導入しパソコンの台数も増やしたことで、記録業務の時間短縮につながった。夏季、エアコンを使用し室内の温度調節することで、事務作業の効率化を図った。行事の分担を決め準備を進めることで職員同士のコミュニケーションが取れ、スムーズに行事を進めることができた。

③ その他

《青池》不適切な支援や保育の一掃に努めた。キャリアアップ研修など園内外の研修に参加し、保育の資質向上に努めた。

《西条》職員対象に防犯訓練を行った。危機管理対策としてマニュアルの見直しを行い、安心安全な保育を心がけた。

《芋井》土砂災害時の避難確保・予防計画を作成し、長野市に提出した。また計画を活用し避難訓練を行った。

(2) 指定管理者業務実施上の課題

《青池》園舎の老朽化が進んでいる。園児確保が困難になっている。

《西条》中山間地に立地しており、将来的に園児数の減少が懸念される。

《清野》令和元年度に耐震化工事が実施され設備が整うので、施設の有効活用について協議していく必要がある。指定管理の施設としてのメリットを活かした特色ある保育を実施していく必要がある。

《芋井》中山間地の保育園のため、子どもの出生率が減少している。

(3) 総合評価

評価基準（計画＝事業計画）

【A】計画や目標を大きく上回る

【B】計画や目標を上回る

【C】計画や目標どおり

【D】計画や目標を下回る

【E】計画や目標を大きく下回る

指定管理者
自己総合評価

C

① 評価理由

《青池》途中入所が2名あり利用率が上昇。保育内容の充実を図る為の研修への積極的な参加。危機管理面で散歩中の鳥獣へのマニュアルが具体化されていなかった。継続して風通しの良い職場環境作りを行なった。

《西条》一時預かりの利用があり、途中入園につながった。全職員でマニュアル作成や危機管理訓練を行い、職員間の意識共有ができた。

《清野》年度途中に常勤の保育士を採用し、途中入園児の受け入れに努めた。職員は各種研修に参加、園内研修でスキルの共有を図った。地域に根差した保育園を目指し、世代間交流や育児相談などの活動に力を入れた。インクルーシブな保育の実現のため、児童発達支援事業所の園児との交流を積極的に行なった。

《芋井》園児数が入園当初から2名増加した。土砂災害時の避難確保・予防計画を作成、長野市に提出し、計画に沿って避難訓練が実施できた。職員の資質向上のため、保育経験や子どもの年齢別の研修に積極的に参加できた。園児に対し不適切な支援が行われないよう、職員間でコミュニケーションを取ながら意見交換をした。行事の内容など職員の意見や要望を出しやすいよう会議以外にもコミュニケーションを図った。福祉サービス第三者評価を受審し課題が見えた。

② 次年度以降の取組み

《青池》継続して安心、安全な保育に努める。支援記録システムを活用して業務の効率化を図る。園内外の研修に進んで参加し保育の資質向上に努める。小学校との連携を継続し、アプローチカリキュラムを作成や行事での交流を図る。

《西条》園児が意欲的に活動し、安心安全に過ごせる環境づくりに努める。小学校との連携を図り、園児と保護者が安心して就学につなげていけるようにする。地域とのつながりを大切に、交流や一時預かり、園開放を通じて園児の入園につなげていく。

《清野》耐震化工事が実施されるため、工事期間中の園児の安全に努める。インクルーシブな保育の実現のため、施設づくりや職員の研修会を積極的に行う。

《芋井》福祉サービスの第三者評価を受審した結果を受けて見つかった課題を解決していく。作成したパンフレットを公共施設に置き、園情報を地域に発信していく。地域の子どもの出生を保健師と連携して把握し、園児確保につなげていく。園庭に手作りの遊具を工夫して作る。